

アキノハハコグサ		<i>Gnaphalium hypoleucum</i> DC.	絶滅危惧Ⅱ類
(環境省:絶滅危惧ⅠB類)			キク科
選定理由	生育地と個体数がかなり減少している。		写真(国立科学博物館) 
形態の特徴	茎は高さ30-50cm、白い綿毛が密生する。葉は線形から線状披針形、長さ3-5cm、上面は緑色、下面は綿毛が密生して白色。頭花は散房状に多数つき、黄色、周辺の小花は雌性、中の小花は両性。		
生態的特徴	乾いた山の斜面などに生育する。花期は9-11月。		
分布状況	東アジアからインドに分布し、日本では本州、四国、九州に分布する。岐阜県では県北、県東、県西に見られる。		
減少要因	開発による生育地の破壊。		
保全対策	生育地の保全。		
特記事項			
参考文献			
			

文責:高橋弘